

伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎 開館10周年記念特別展

大観 玉堂 龍子

EXHIBITION

近代日本画三大巨匠

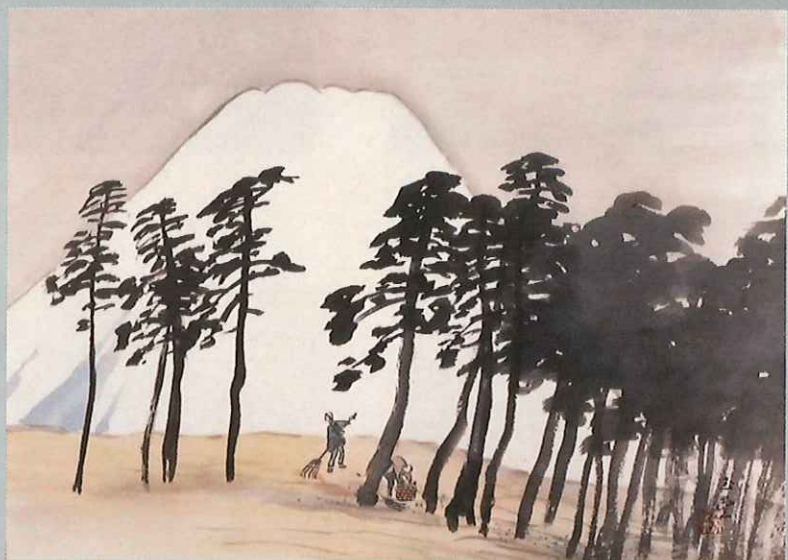
11.14(金) - 12.15(月)

火曜日休館 OPEN 10:00 - 16:30

観覧料 一般 300 円 高校生以下無料



横山大観 「神国日本」



川合玉堂 「松間富士」



川端龍子 「富士虹影」

YOKOYAMA TAIKAN
横山大観

KAWAI GYOKUDO
川合玉堂

KAWABATA RYUSHI
川端龍子

伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎 〒518-0221 三重県伊賀市別府 718-3

●ギャラリートーク 11/16(日) 13:30～ 講師 衣斐 唯子(パラミタミュージアム学芸員)

●茶室「聴樹庵」で紅葉と「茶」を嗜む 11/15(土)・22(土)・24(月)振・29(土)

①10:00～②11:00～③13:00～④14:00～ 各回定員12名 [いずれも予約制] ※詳細はチラシ裏面をご覧ください。

[主催・お問合せ] 公益財団法人伊賀市文化都市協会(伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎指定管理者) ☎0595-22-0511

[共催] 伊賀市 [協力] 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム・(一財)東洋文化資料館青山讃頌舎

[後援] 伊賀市教育委員会

◆この事業は、伊賀市文化振興条例、伊賀市文化振興ビジョンに基づき実施します。

◆掲載画像は、いずれもパラミタミュージアム蔵



(公財)伊賀市文化都市協会

伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎の前身である青山讃頌舎美術館を水墨画家故穂月明が開館してから 10 年となることを記念し特別展を開催します。

近代日本画を代表する三人の画家、横山大観(1868-1958)・川合玉堂(1873-1957)・川端龍子(1885-1966)。彼らはそれぞれ異なる活動の場を持ちながらも、互いに交流し刺激を与えながら、三者三様の画境を切り開きました。彼らの主な活動の場は異なり、大観は日本美術院において、さまざまな技法や表現を試み、革新的な日本画を生み出しました。玉堂は官展を中心に活躍し、日本画における風景表現に新境地を拓いています。また、龍子は、再興日本美術院を脱退して自ら主宰する青龍社を創立、大画面の迫力ある作品を発表して画壇にインパクトを与えました。本展では、新しい時代に即した日本画を模索し、その近代化に大きく寄与した大観・玉堂・龍子の作品とともに、明治以降の日本画の歩みをお楽しみください。



横山大観 「若竹図留袖」



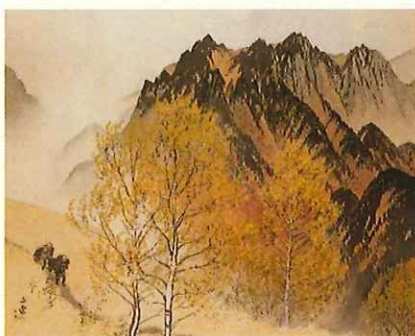
川合玉堂 「春湖水禽」
1945 年頃



川端龍子 「香鯉図」



横山大観
「六歌仙」
1909 年



川合玉堂 「秋山帰樵」
1952 年頃



川端龍子 「雷神」

◆掲載画像は、いずれもパラミタミュージアム蔵

ギャラリートーク

作品の解説を交えながら、近代日本画三大巨匠について説明いただくギャラリートーク

日 時 11/16(日) 13:30～ 講 師 衣斐 唯子(パラミタミュージアム学芸員)

会 場 展示室 定 員 先着 20 名程度 (予約制)

茶室「聴樹庵」で紅葉と「茶」を嗜む

茶室「聴樹庵」の庭全体を覆う美しく色付いたいろは紅葉の下で
気ままにお茶を一服召し上げられ。

日 時 11/15(土)・22(土)・24(月)振・29(土)

① 10:00～ ②11:00～ ③13:00～ ④14:00～

会 場 茶室「聴樹庵」 定 員 各回先着 12 名 (予約制)

呈茶代 400 円(お抹茶・お菓子)

【お申込み・受付】

10 月 18 日(土) 午前 10 時から

青山ホール電話 0595-52-1109 にて

申込受付開始

アクセス

【お車で越しの方】

・名阪国道上野東 IC より 20 分、R165 阿保交差点の信号を南東(直進)、大村神社南駐車場に駐車。
・伊勢自動車道久居 IC より 40 分、R165 別府交差点の信号を左折、大村神社南駐車場に駐車。

【電車で越しの方】

近鉄青山町駅下車 徒歩 15 分、近鉄青山町駅より R165 青山町駅前信号を直進、西参道石段を大村神社へ
* ご来館の方は大村神社を目指してください。

